

デジタルハリウッド大学

2021年度 一般選抜 B方式

国語 [60分]

【注意事項】

1. 試験監督の指示があるまでは、問題冊子は開かないこと。
2. 試験監督から指示があったら、解答用紙に氏名・受験番号を正確に記入し、受験番号マーク欄にも受験番号を正確にマークすること。
3. 試験開始の合図後、この問題冊子を開き、36ページ(白紙ページ含む)揃っているか確認すること。
4. 乱丁、落丁、印刷不鮮明などがある場合は、手を挙げて試験監督に知らせること。
5. 解答は、すべて別紙の解答用紙の解答欄にマークすること。
6. 試験開始から終了までの間は、試験教室から退出できません。
7. 不正行為を行った場合は、その時点で受験の中止と退室を指示され、同日受験したすべての科目の成績が無効となる。
8. 解答用紙は試験終了後、回収される。問題冊子は持ち帰っても良い。

第一問 次の小説の一節を読んで、後の設問に答えなさい。

内定がひとつも出ないままの僕を、父さんがとうとう見かねたらしい。不動産会社を経営している遠縁の親戚がいるから、話を通してやってもいいと言ってきた。

そんな切り札があるのなら最初から言ってくればいいのにと、思いが胸をかすめる。そして次の瞬間、ざらついた舌でなめられるような不快感を覚えた。すぐにはわからなかったけどそれは、世話してもらうのが当たり前かのように思っている自分への嫌悪だった。でも、だからといってそんないい話にのらない潔さは持っていない。べつに悪いことしてるわけじゃないんだからと、僕は初めて芽生えた感情を押しつぶす。

数日後、父さんから「一応、形だけでも面接しようって言ってきたぞ」と言われた。一応。形だけでも。話は通ったということだ。よかった。よかったじゃないか。これで決まりだ。不動産会社って何をすればいいのかよく知らないけど、そんなことは入社してから教えてもらえばいい。ほっとしているはずなのに、なぜだか僕は落ち着かない気持ちになった。

日程をすぐに指定されたので、父さんから渡された社名と住所を元に、僕は会社への行き方をネットで調べた。うちからは遠く離れた場所にあつて、聞いたことのない駅から歩いて二十分ほどかかりそうだった。まあ、いい。スマホのマップアプリでなんとかなるだろう。

それで今日、僕はスマホを片手に、知らない町に降り立った。単線の駅は小規模な商店街に続いていて、そこを抜けたら田んぼの中にぼつんぼつんと民家があるような田舎道だった。マップアプリに社名を打ち込むと、あっさりと経路が出る。自分のいるところに青、会社

社に赤のマーク。地図の上でつながれた線の通りに、ただ歩いていけばいい。

便利だな。こんなふうには、これからの人生も道順をはっきり示してもらえればなんの無駄もない。ナビに従っていけば、問題なくたどりつく。

……問題なく。そうかな。②問題ないのが問題ってことも、あったりして。

ぼんやりしながら歩いていたら、手をすべらせてスマホを落とした。拾い上げたスマホは画面が真っ暗だった。

やばい。冷や汗をかきながら電源ボタンを何度か押ししてみる。衝撃で一度シャットダウンしたスマホは、しばらくすると息を吹き返した。

胸をなでおろし、あらためてアプリを立ち上げる。社名を打ち直すと会社の場所に赤いピンがついたが、自分の居場所を示す青い丸がひよこひよここと動き出して定まらない。GPSがうまく作動していないらしかった。

僕はあたりを見回す。ここはどこだ？ スマホの画面ばかりに集中していたので、周囲をよく見ていなかった。スマホに出ている地図には③めぼしい目印はほとんどなく、ただ細い道が交差している。道の脇にもなにかしらのビルや家があるのに、地図の上では空白が広がっているだけだ。唯一、途中にガソリンスタンドのマークがあるけど、見渡す限りそんな看板はない。

青い丸は挙動不審にうろろし続けている。なんだか僕みたいだ。せつかく行き場を示されているのに、自分の立ち位置がわからないせいで結ばれることのない点と点。

……ポイントと、ポイント？

そう思ったとたん、はっと目の前がクリアになったような気がした。

僕は。

僕はずっと、どこへ行けばいいのかわからないって思っていた。何を選べばいいのか、何を決めればいいのか。先にある終着点だけを探していた。でも、それよりも前に、③もつとわかっていることがあった。

まず知るべきは、目的地じゃない。

現在地だったんだ――。

T A B譜の本を一冊、買った。

ギターのコードを押さえるポジションが書かれている楽譜だ。今まで気にも留めていなくて知らなかったけど、本屋の一角にはたくさん種類のT A B譜が売られていた。楽器屋だったらもつとあるかもしれない。ギター人口がこんなにあるんだと、僕は驚いた。

僕が選んだのは初級編から上級編まで載っている厚めのやつだ。初級編に『線路はつづくよどこまでも』が載っていたので迷わずレジに持っていった。

部屋でひとり、ページを開き、あぐらをかいてギターを構える。

あの「形だけの面接」の日、僕はアプリを閉じて会社に電話をかけ、道に迷ったことを告げた。とりあえず駅まで戻ってと言われ、通りすがりの人に道順を尋ねながら駅にたどりつくと、「遠縁の親戚」であるおじさん、つまり社長がみずから車で迎えに来てくれた。

白髪混じりのとても温和な人だった。社員はパートさんを含めて十五人ほどだそうで、僕が社長についていくとみんな歓迎ムードで笑いかけてくれた。

応接室に行ったらお茶が出て、社長とふたりで少し話をした。履歴書を渡したものの、社長はテーブルの上に置いたまま見もしなかった。「お父さんは元気？」とか、「小学校のときサッカーやっていたんだっけ？」とか、質問の内容は親戚の枠を超えず、本当に面接とは名

ばかりだった。

帰るときになってやっと、付け加えるように社長は言った。

「うちは小さい会社だけど長いつきあいのお客さんが多くて、そこそこ安定してると思うよ。お給料はそんなに高くないけどね。慎しんくんがよかったら、経理か事務か、そのあたりで席を用意しておくから」

内定確定だ。志望動機すら聞かれていないのに。僕のほうにはそれを断る理由なんかない。

でも、なんだろう。ざわざわした違和感がおさまらなかった。

これでいいのかなって、そう思うなら、いいわけないんじゃないかって気がした。

「あの……社長は、どうしてこの会社を設立したんですか」

僕が尋ねると、社長はほんの一瞬だけ宙を見て、そしてなつかしそうに話し出した。

「高校のとき、親とケンカして、家出したことがあってね」

「家出？」

「そう。勢いだけで飛び出しちゃったから行くところなくて、公園で寝た。一晩でもしんどかったよ。人は建物がないと生きられないんだと、あらためて感動した。建物はどんなものも、それぞれ素敵だ。でもあいにく、僕は建築士には向いていなかったみたいだね」

社長は少しだけ自こ嘲こ気味きに言い、そのあとすぐ、どこか勇ましくほほえんだ。

「だけど、建物を作り出すことはできなくても、求めている人たちに案内することはできる。そこで暮らす人や過あごす人に安心を与えられる建物をね。作る人ばかりじゃなくて、伝える人もいないとだめだ。ガイドもすごく重要な役で、きっと僕にはそのほうが合っている。それが、僕がこの仕事を愛して会社を設立した理由です」

④なんだが、がつんときた。幸福と自信に満たされた笑顔だった。この人がここまで大切な想いで経営してきた会社に、こんないいかげんな僕が入っていいんだろうか。

僕にとって、仕事って？ 就職って？ 僕は何がしたい？ 何ができる？

マニュアルを見ながらさんざんエントリーシートに書いてきたはずのことを、僕は今になってやっと本気で自問し始めていた。この会社で働く自分が想像できなかった。もともと、今までそんなふうイメージしたことさえなかったんだ、僕は。

そう考え出したら止まらなくなって、翌日、社長に電話をかけて辞退を申し出た。父さんは「他の会社から内定が出てからにしろ」と言ったけど、そのほうが失礼な気がした。社長は電話の向こうで「がんばれよ。今度お父さんも一緒に、みんな酒でも飲もうな」と言ってくれた。嬉しいのと申し訳ないのとで、少しだけ涙が出た。僕は本当に、酒を酌み交わす日を楽しみに思った。社長じゃなくて「おじさん」と、もつとゆっくり話がしてみたい。きちんと就職が決まったら、必ず。

電話を切って、⑤僕は父さんに「ありがとう」と頭を下げた。僕の進路を心配して、社長にもつと深く頭を下げてくれたであろう父さんは、戸惑ったように「うん」とだけ答えた。

どうして今まで気がつかなかったんだろう。僕はただ運ばれてきたわけじゃない。いろんな人のいろんな支えで、ここまで来ることができたんだ。親や、友達や、彼女や。僕はすごくすごく、恵まれていたんだ。なのに、なんのありがたみも感じずに、まるで指示されているように受け取っていた。いつも僕の体を気遣ってくれる母さんにも、いいバイトを紹介してくれた友達にも、礼を言ったことがあったのだろうか。僕を好きになってくれた女の子にだって、思いやりのひとつも返してこなかった。

さあ、これからどうする。僕の現在地はどこだ？

Cコードを鳴らす。一本ずつピンポンパンポーン、とはじいてみる。デパートの迷子のアナウンスみたいだ。スリーエスのギターをお

持ちの田島慎くん、二十一歳が、お連れ様をお待ちです。お心当たりのある方は、サービスカウンターまでお越しくださいませ。

お連れ様なんて、いない。⑥僕はひとりでデパートに行くときがきたんだ。覚えたてのGコードに指を這わす。まだ慣れなくて、小指がつりそうになる。

(注) 竜三さんはあれから、いつも通りに接してくれた。僕は、ギターを返すという名目で、来週、竜三さんがバイトを辞める日に彼のアパートに行きたいと申し出た。

サプライズだ。竜三さんに内緒で、はなむけに一曲マスターする。結局、ちゃんと謝っていないし、「がんばってください」と言葉にするだけじゃ嘘くさくなりそうな気がした。僕なりに考えついた、デビューに向けての応援メッセージのつもりだった。

『線路はつづくよどこまでも』のコードは、CとGの他にD7とB7。四つならなんとかなるだろう。きっと弾けるようになって、竜三さんに聴いてもらおう。竜三さんみたいにうまくはできないけど、「僕だからこの音になる」って、胸張って言えるようなギターを。

(青山美智子『猫のお告げは樹の下で』より)

(注) 竜三さん——「僕」のアルバイト先の先輩。竜三さんの組むバンドがプロデビューすることが決定し、アルバイトを辞めることになっ

たが、「僕」は竜三さんに対して「気楽に生きているのに夢がかなうなんてすごいですね」と嫌な言い方をしてしまっていた。

問1 傍線部①の本文中における意味として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

① 胸をかすめる

- ア 心に刻まれる
イ 一瞬心に浮かぶ
ウ いらだちを覚える
エ 気持ちを暗くする
オ 疑念を抱かせる

問2 傍線部②の本文中における意味として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

② めぼしい

- ア 役に立つ
イ 確かな
ウ 認識できる
エ 似ている
オ 目新しい

問3 傍線部③の本文中における意味として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

③ 自嘲気味に

- ア 他人に遠慮するように
イ 自分に呆れる^{あき}ように
ウ かしこまった様子で
エ 自分を慰めるように
オ 大切に誇らしそうに

問4 傍線部①「僕は落ち着かない気持ちになった」とあるが、それはなぜだと考えられるか。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 今まで内定がひとつも出ないままだったのに、関心のなかった不動産会社への就職の話が父親の紹介で急に進んだため、不動産会社を心から志望する人に対して不誠実な態度であることを申し訳なく感じたから。

イ 父親は内定が出ない自分のために縁故を頼り就職先を手配してくれたが、自分の希望する職種については何も確認することがなかったため、父親の心配は世間体を気にした形だけのものだと不快感を覚えたから。

ウ 父親に就職先を世話してもらうことは悪いことではないと考えて、世話してもらうことを当然と考える自分への嫌悪感を打ち消したつもりでいたが、心の奥底にある違和感をぬぐいさることができなかったから。

エ 遠縁の親戚が経営する不動産会社への就職を父親に世話してもらうことを情けないと思いつながら、その思いを見て見ないふりをして、就職の話が決まりそうなことにほっとしている自分自身の弱さを克服すべきだと考えたから。

オ 不動産会社の面接について、その社長が遠縁の親戚という理由だけで形だけのものになったことに安堵あんどしながらも、自分はこの先の人生でも父親や周りの人の言う通りに生きていくしかないのかと不安に思ったから。

問5 傍線部②「問題ないのが問題」とあるが、それはどういうことか。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

- ア 人生には必ず問題があり、それを解決する道筋が人生そのものだという見方があるが、その偏った見方にこそ問題があるということ。
- イ スマホ等の便利な技術により、生活に必要な問題は必ず解決できると考えることに、現代の重大な問題が含まれているということ。
- ウ 自分の人生の道順を誰かに示してもらって問題が生じていないという状態こそが、本来の人生のあり方として正常ではないということ。
- エ マップアプリがあれば無駄なく目的地にたどりつくが、無駄のない人生を送ることは、真に幸福に満たされた人生ではないということ。
- オ 自分の人生の問題をすべて自分で解決することができる人は、問題を抱えて苦しむ他者への共感を持ってない点に問題があるということ。

問6 傍線部③「もっとわかっていないことがあった」とあるが、ここで「僕」はどのようなことに思い至ったのか。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア スマホのような便利な機器や他人に頼っていれば自分の頭で考える必要はないが、その助けがないとひとりでは何もできない人間になってしまうということ。

イ マップアプリには目的地だけでなく現在地を入力する必要があるように、自分のやりたいことと現在の自分のできることの二つを合わせて考える必要があるということ。

ウ 自分がこれから向かうべき事柄を考え、決定するためには、自分はどういう人間であり、どのように生きているのかということ、まず知らなければならぬということ。

エ 人生の目標地点に到達するためには、現在の自分を構成する情報を確認し、他人の力に頼らず自分の力で目標地点に到達する方法を探さなければならぬということ。

オ 自分のこれから進むべき道を選ぶときには、将来の自分自身が何を望むようになっていくかを、現在の自分の望みから推論しなければならぬということ。

問7 傍線部④「なんだか、がつんときた。」とあるが、それはなぜか。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 自分はこれまで家族に甘え、家族に手助けをしてもらうことを当然に思っ生きてきたが、社長は進路について家族と衝突することも厭いとわず、やりたいことを力強く貫いてきたと知って、自分の甘さを思い知らされたから。

イ 社長はただの温和な人で、不動産会社を経営していることに深い意味はないと思っていたが、実は信念に基づく必然の帰結であると知って、いいかげんな気持ちで接するべきではないと気をひきしめたから。

ウ 自分は、自分が就く仕事と生きる目的とを結びつけて考えていなかったが、自分の好きなこと、やりたいことを仕事にした社長の自信に満ちた笑顔を見て、自身の間違いを非難されたように感じたから。

エ 内定をもらうことが大切で、仕事の内容などは重要ではないと考えていたが、社長は自分の適性や自分がどんな仕事をしたいのかを真剣に考え、人生を築いていたと知って、自分との違いの大きさに衝撃を受けたから。

オ 不動産業とは、単に不動産という資産を仲介するだけの無味乾燥なものと思っていたが、社長の建物に対する想いを聞いてその仕事の意義に気づかされ、改めて自分の考えの浅さに思い至がくぜんって愕然としたから。

問8 傍線部⑤「僕は父さんに『ありがとう』と頭を下げた」とあるが、それはなぜか。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 平素は親しくない遠縁の社長に頭を下げ、息子の就職のために真剣に働きかけてくれた父親の愛情にいまさらながら気づき、普段は恥ずかしくて示せなかった感謝の気持ちを示すべきだと思ったから。

イ 今まで、就職とは何か、仕事とは何かについての自分の疑問に答えを出すことができずにいたが、父親のおかげでその答えが見つかり、希望していた職業に就く自信が持てたことを伝えたかったから。

ウ 人々のために誠実に仕事をしている社長のような心から尊敬できる人と出会えたことで、自分の将来の仕事や自分自身の可能性についてもきちんと考えてみようと思えたことが誇らしかったから。

エ 今まで、自分に対する周りの人の指示を、自分の意思を邪魔するものと感じていたが、それには愛情の裏付けがあることを知り、自分が人に恵まれていることに感謝する気持ちがあふれてきたから。

オ 何かに運ばれているように進んできたと思っていた自分の人生は、実は父親など自分を気遣う多くの人々に支えられていたものだという事に思い至り、感謝の気持ちを口にするべきだと思ったから。

問9 傍線部⑥「僕はひとりでデパートに行くときがきたんだ。」とあるが、それはどういうことか。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 小さい頃、デパートで迷子になったときに家族が助けてくれたように、自分が周りの人を支え、今まで与えてもらった愛情を返していくときがきたということ。

イ 今の自分に必要なことや自分が支えられている幸運を知ることができたことで、ようやく誰の意思でもなく自分の意思で人生を進むときがきたということ。

ウ 今までは、反発を覚えながらもいつも誰かの指示に従って行動してきたが、ついに自分で考えて行動しなければならないときがきたということ。

エ 周りの人々の愛情を当たり前に思い甘えていた自分に気づいたことで、ようやくひとりの人間として孤独に耐えて自立して生きていくときがきたということ。

オ 今までは、周りの人々の行動を傍観しているだけの人生であったが、自分の意思で積極的に行動し、周りの人々に認めてもらうときがきたということ。

問10 本文中において「僕」の心情は、就職活動の過程で変化しているが、その変化についての説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 自分の進路は自分で決めなければならないと焦りを感じていたが、恵まれた自分に気づいたことで、ゆつくりでも自分の力で生きていこうと考えるようになった。

イ 面接に向かうまでは、人生は結局、運に左右されるのではないかと感じていたが、社長の話を聞いて、夢がかなうのは努力の結果なのだと思うようになった。

ウ 人生は、偶然に誰かの指示を受けることにより決まると思っていたが、その誰かの指示を受けることは必然として決まっていると信じるようになった。

エ 人生は、自分の意思とは無関係に進むものと感じていたが、自分自身を知ることによって自分の意思が生まれ、自分らしく人生を歩んでいくことの誇らしさを知った。

オ 社長に出会うまでは、自分らしい人生という概念に疑問を抱いていたが、自分の人生に誇りを持って生きている社長に出会った後には、その概念に好感を抱くようになった。

第二問 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。なお本文上には設問の都合で段落番号①～⑪を付してある。

① スクリーンに媒介されたイベント——「パブリック・ビューイング」や「ライブ・ビューイング」などの集団視聴、あるいは大規模なオンライン視聴と連動したイベントなどが人口に膾炙^{かいしや}している。これらは多くの場合、映画やテレビを中心とするマスメディアの地殻変動と密接に結びつき、その重要な一部を構成しているとともに、インターネット社会におけるマス・コミュニケーション現象の課題や展望を示唆している。そこで本章では、^(注1)メディア・イベントという(やや使い古された)概念を切り口に、スクリーン・スタディーズという視角を切り拓^{ひら}く道筋を検討したい。

② たとえば、FIFAワールドカップ(以下、W杯)の開催にさいしては近年、パブリック・ビューイングが世界各地で人気を博している。その独特な受容体験は、しばしばテレビ草創期における街頭テレビの熱狂^{たど}に喩^{たと}えられる。ただし現在では、テレビ中継が会場の巨大スクリーンで視聴されるのみならず、手のひらのスマートフォンでも同時に情報が収集され、SNSなどを通じて声援やヤ^ヤジ^ジが拡散していく。

③ スクリーンに媒介されたイベントを構成するのは、放送局が中継する番組ばかりではない。音楽や舞台などの公演中継を、映画館やライブハウスのスクリーンで鑑賞する「ライブ・ビューイング」も、ここ数年で市場規模が急速に拡大している。二〇〇九年一二月に映画『アバター(Avatar)』が公開され、映画館のデジタル化が一気に進んだことで、ライブ・ビューイングの拡大を促すための技術的要件が整った。高品質の映像・音響設備によって、会場の雰囲気が生々しく再現できるようになり、「非映画コンテンツ(ODS)」という業界用語も生まれた。宝塚歌劇団の公演は必ず満席になり、人気アイドルのコンサートも確実に動員が見込めることから、シネマコンプレックスにとって手堅い収益源になっている。コンサートの場合、アーティストは目の前の観客のみならず、エン^{エン}カ^カク^クチ^チのスクリーン

を介して鑑賞している観客にも呼びかけ、各地の会場を同時に盛り上げる。また、二〇一六年になると、映画館で観客が大声を出すことを認める、いわゆる「応援上映」というイベントが定着した。

4 二〇一二年から毎年四月、株式会社ドワンゴが開催している「ニコニコ超会議」のように、大規模なオンライン視聴を前提に始まったイベントもある。会場に遍在する無数のスクリーン、あるいは手元のPCやスマートフォンを介して、ネット視聴者とともにイベントを楽しむ。かたやネット上では、「弹幕」と呼ばれるコメントを通じて視聴者同士が盛り上がることから、その様子もまた「街頭テレビ」に喩えられることが多かった。

5 また、スクリーンを用いない^(注2)プロジェクション・マッピングも、今のところ技術の希少性が高いことから、「街頭テレビ」と比べられることがある。こうした新しい映像文化は、テレビ受像機が家庭に普及する過程で失われた集団視聴という現象を、擬似的に再生しているという一面がある。さらに、プロジェクション・マッピングは、特定の場で共時的な身体経験を生み出す技術として使用されている反面、オリンピックの開会式における演出をはじめとして、テレビが媒介する映像表現としても存在感を発揮している。

6 これらはいずれも、参加者や視聴者のあいだに連帯の感情が共有されているかのような、一時的で、仮設的な映像体験である。国際化や情報化の影響を色濃く反映した^(注3)トランスナショナルな文化現象でありながら、依然として、マスメディアや文化産業が重要な役割を果たしている。ただし、同じ場所で祝祭的な経験を共有しながら、われわれの意識はそうした局在性をやすやすと超えてしまう。新しい情報技術が空間性や時間性そのものを根底から変容させていく二〇二〇年代において、「メディア」と「イベント」の新しい結びつき方を、われわれはどのように捉えることができるだろうか。

7 一九九〇年代に提起された^(注4)ダヤーンとカツツの議論を踏まえて、オリンピックやW杯などのテレビ中継はこれまで、典型的なメディア・イベントとして捉えられてきた。パブリック・ビューイングは、メディア・イベントの新しい受容形態として注目を集めてい

るが、^②考察の余地を多分に残している。テレビ放送の受容に関してはこれまで、あくまでも家庭内視聴が前提とされてきたのに対して、パブリック・ビューイングは、参加者（視聴者）の能動的関与によって、メディア・イベントとしての放送が再イベント化されるという特性があるためである。

8 日本にパブリック・ビューイングが定着したのは二〇〇二年の日韓共催W杯にまでさかのぼるが、こうした集合的沸騰に対して、批判的な言説も存在した。精神科医の香山リカが当時、路上などで無邪気に国旗を振る日本の若者たちを「ぶちナシヨナリズム症候群」と評したことは、とくに大きな話題になった。そして後年には、ニコニコ超会議に表出する右傾化傾向が海外で厳しく非難されたこともある。たとえメディア・イベントという概念を知らなくても、国家的ないし国際的なイベントがもたらす同調圧力に対する危機感は、今でも多くの人びとのあいだで共有されていることが分かる。ただし、二〇世紀のメディア・イベントは、大衆の集団的意識を動員する効果的な手段になりえたかもしれないが、われわれの生活がデジタルメディアによって多重的に媒介され、あちこちにスクリーンが遍在している現実のなかで、^③それは決して容易なことではない。右傾化批判の妥当性を検証するためには、インターネットやモバイルメディアなどの普及にともない、**④**した情報環境のもとで成立するイベントの社会的機能を、実証的に捉えていく必要がある。

9 二〇〇六年のドイツW杯においても、ドイツ国内では大規模なパブリック・ビューイングが開かれた。とくに大きな注目を集めたのが、ベルリンの「ファンマイル(Fanniele)」——「ファンのための数マイルの道」の意——である。このイベントでは、試合を観戦するためのスクリーンが何枚も仮設されているだけでなく、ステージ上では音楽フェスティバルが催され、露店が立ち並ぶ路上では、ダンスや小競り合いが繰り広げられた。国外からの観光客を見込んだFIFAの公式イベントだったが、ふたを開けてみると多くのドイツ人——しかも若者だけでなく高齢者までも——が、国旗を振る光景が見られた。第二次世界大戦後、公的空間で国旗を振るといふ行為が^⑤「**セイ**」されてきたのは、日本と同じである。ところが、参加者が文字通り、熱狂的なサッカーファンだったとは限らない。さほど試合

内容に関心を向けることなく、流行のパーティを楽しむために会場を訪れた人びとも数多く存在していたのである。

10 フランスの哲学者ベルナル・ステイグレルが、「プログラム産業」という言葉を用いて批判しているのも、メディア・イベントの研究の問題関心と近接している。W杯の決勝は世界中で数億、数十億人によって視聴される。この大規模な時間的一致によって、視聴者の集団的意識と無意識が過度に「同期化」され、人びとの経験の「特異性」を均質化してしまう。インターネットやモバイルメディアの普及にともない、コミュニケーションが個人の興味関心に最適化されているなかで、こうした議論の構図が有効性を失っているという反論もできる。ただし、人びとの意識の絶えざる流れを産業的資源として捕捉しようとする、いわゆる「注意・経済」アテンション エコノミーを支えるテクノロジーの進化という観点からみれば、むしろ両者は連続的に捉えられるだろう。

11 したがって、メディア・イベントとは従来、マスメディアの社会的機能を示す概念のひとつとして了解されてきたが、「テレビ」や「放送」、「視聴者」といった概念が軒並み自明性を失っている現在、電波を介して（放送されている／いない）という差異は、はたしてどこまで重要だろうか。裏を返せば、イベントを媒介する事業主体が（マスメディアである／ない）という同定も、次第に困難になっている。（注5）二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックを引き合いに出すまでもなく、ネットに媒介されたイベント中継は、今後ますます大規模化していくだろう。そしてその受容体験は、ネット上で日々、日常的に実践されている擬似的な集団視聴と切り離して考えることはできない。すでに述べたように、パブリック・ビューイングに対しても使われる「街頭テレビ」という比喻、そして批判的言説の近接性も看過できない。

いいだめたか
飯田豊『メディア論の地層 1970大阪万博から2020東京五輪まで』より。
出題の都合上、本文中に一部省略・変更した箇所がある

（注1）メディア・イベント——生放送と局外中継の組み合わせなどのマスメディアによって媒介された特別なイベントのこと。

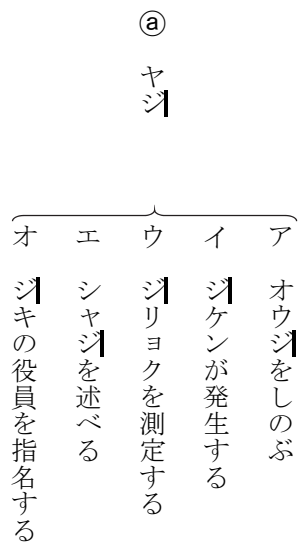
(注2) プロジェクション・マッピング——CG映像をプロジェクター等の映像機器で建物や物体等に投影する技術の総称。

(注3) トランスナショナル——国境を越える様相のこと。

(注4) ダヤーンとカツツの議論——ダニエル・ダヤーンとエリュ・カツツは、著書でマスメディアの社会的機能を示す概念のひとつとして「メディア・イベント」という概念を提示した。

(注5) 二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピック——この文章が書かれた当時、二〇二〇年夏に開催される予定であった。

問11 傍線部①に相当する漢字を含むものを、ア～オの中から選んで答えなさい。



問 12 傍線部⑥に相当する漢字を含むものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

⑥ エンカクチ

- ア カクトを変えて考える
イ 治療のためにカクリする
ウ カクシ的な技術を用いる
エ 組織のチュウカクを担う
オ 本人のジカクに期待する

問 13 傍線部⑦に相当する漢字を含むものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

⑦ ジセイ

- ア お盆休みにキセイする
イ 台風のセイリヨクが衰える
ウ 機械で動きをセイギョする
エ 他社のセイヒンを研究する
オ セイヤクシヨを提出する

問14 傍線部①「われわれの意識はそうした局在性をやすやすと超えてしまう」とあるが、それはどういうことか。その説明として適当なものを選び、ア～オの中から選んで答えなさい。

- ア 仮設的な映像体験では、他者と同一の場に身を置き、同一の物事を共時的に体験して生ずる程の連帯意識を抱くことはないということ。
- イ 仮設的な映像体験では、対象のイベントだけを意識することになり、媒介者としてのマスメディア等を意識することはないということ。
- ウ 仮設的な映像体験であっても現在の情報技術により、特定の空間や時間にとらわれない連帯意識を共有することができるということ。
- エ 仮設的な映像体験であってもイベントの祝祭的な性質が強ければ、意識は容易にその仮設的な状況を忘れることができるということ。
- オ 仮設的な映像体験では、さらに新しい情報技術により変容した時空間におけるほど、他者との連帯意識を抱くことはないということ。

問15 傍線部②「考察の余地を多分に残している」とあるが、それはなぜか。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア パブリック・ビューイングは、不特定多数の視聴者が能動的に関与し、マスメディア等の放送を恣意的に解釈する点で、公共の危険を生じさせやすいから。

イ パブリック・ビューイングは、メディア・イベントの新しい受容形態として、従来のメディア・イベントとの役割上のすみ分けを模索する必要があるから。

ウ パブリック・ビューイングは、マスメディア等の放送を主たる構成要素としている点で、メディア・イベントとしての典型的な特性を備えているから。

エ パブリック・ビューイングは、マスメディア等の放送を構成要素とする視聴者関与型のイベントである点で、従来のメディア・イベントとは性質が異なるから。

オ パブリック・ビューイングは、不特定多数の視聴者が能動的に関与し、各自がイベントの評価を行う点で、従来のメディア・イベントとは異なる特性があるから。

問 16 傍線部③「それは決して容易なことではない」とあるが、それはなぜか。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 現代の大衆は、デジタルメディアを通じて提供されている多重の情報の大半がナショナリズムや右傾化を促すものであることを認識しているから。

イ 現代の大衆は、デジタルメディアを通じて提供されている多重の情報に判断力を奪われ、単一の思想や価値観に依拠して行動しやすくなっているから。

ウ 現代の大衆は、デジタルメディアを通じて多重的に提供されている情報に囲まれており、一つのイベントで集団的意識を形成することは難しいから。

エ 現代の大衆は、デジタルメディアを通じて得ている情報には何らかの意図があると十分に認識しており、簡単に特定の思想に賛同するということはないから。

オ 現代の大衆は、デジタルメディアを通じて得た多種多様な情報から、思想的に偏っていくことを事前に阻止する潜在的な集団的無意識を共有しているから。

問 17 空欄 ④ に入る語句として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 複合化

イ 高度化

ウ 大衆化

エ 集団化

オ 遍在化

問 18 傍線部⑤「こうした議論の構図が有効性を失っているという反論」とあるが、それはどのような反論か。その説明として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 情報技術の高度化は、不特定多数の視聴者の集団的意識と無意識を同期して均質化する点で、内面の自由を侵害するものとして批判するのは妥当でないという反論。

イ 情報技術の高度化は、不特定多数の視聴者の個別の関心に適合する情報を提供するとともに、その個別の関心を同期して均質化するものでもあるという反論。

ウ 情報技術の高度化は、不特定多数の視聴者の多様な意識の流れを、経済的利益を生み出す方向に変える点で、産業を発展させるための有効な方法であるという反論。

エ 情報技術の高度化は、不特定多数の視聴者に同一の情報を同時に提供することにより、彼らの思考に同一のプログラムを植え付ける危険性があるという反論。

オ 情報技術の高度化は、不特定多数の視聴者の個別の関心を同期して均質化するのではなく、むしろその個別の関心の特異性を確保するものであるという反論。

問 19 本文の要旨として適当なものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

ア 従来のメディア・イベントは、マスメディアの社会的機能として捉えられてきたが、今後は、文化産業の担い手としての社会的機能を示すものとして捉えるべきである。

イ 情報テクノロジーの進化とは無関係にメディア・イベントが街頭テレビに喩えられるように、メディアとその受容者との関係には循環の法則が成立する。

ウ 従来はマスメディアが視聴者の集団的意識を形成する役割を果たしてきたが、今後は、ネットの参加者が相互に集団的意識を形成する役割を果たしていくことになる。

エ 今後のイベントの社会的機能は、社会に遍在するスクリーンが提供する多元的な情報の受容体験がもたらすものを中心として考察されるべきである。

オ 国家の統一的な意思を形成するというマスメディアの役割は既に終焉しゅうえんを迎えたため、今後のメディア研究ではマスメディアという要素は排除すべきである。

問20

この文章の構成に関する説明として**適当でない**ものを、ア～オの中から選んで答えなさい。

- ア 2 段落から 5 段落までは、1 段落で主題として提示したメディア・イベント概念に該当する具体的なイベントを説明している。
- イ 6 段落では、1 段落から 5 段落までで言及したメディア・イベント概念には含まれない概念を対比的に提示、説明している。
- ウ 7 段落では、特定の年代に想起されたメディア・イベント概念をもとに現代のメディアとイベントを捉える際の問題点を提示している。
- エ 9 段落では、8 段落で提示したメディア・イベント同調圧力説を批判する筆者の見解の根拠となりうる具体的事例を提示している。
- オ 11 段落では、それまでの内容を踏まえ、メディア・イベント概念に関する筆者の問題意識を提示し、今後の考察の方向性を示している。

第三問 次の設問に答えなさい。

問 21 次の文に含まれる意味を表現している四字熟語を、ア～オの中から選んで答えなさい。

彼女はいまだ問題を解決する端緒を得ていないが、解決策を求めて様々な方法を試すことにした。

ア 曖昧模倣あいまいもこ

イ 右往左往

ウ 遠交近攻

エ 暗中摸索

オ 意气軒昂いきげんこう

問22 次の文に含まれる意味を表現している故事成語を、ア～オの中から選んで答えなさい。

彼は人と協調することの大切さは意識しているが、人の意見に合わせて自分の意見を変えることはしない。

ア 虎穴に入らずんば虎子を得ず

イ 和して同ぜず

ウ 瓜田かきんに履くつを納いれず

エ 敗軍の将は兵を語らず

オ 鶏口となるも牛後となるなかれ

問23 次の語句の正しい意味はどれか、ア～オの中から選んで答えなさい。

コワーキング

- ア 情報通信技術を活用し、時間的、場所的な縛りをかけずに勤務する形態。
- イ 事務所スペースを複数人で共用しながら、独立した勤務を行う形態。
- ウ 不特定多数の人から、特定の事業を遂行するための寄付金を募る方法。
- エ 企業の遂行する業務の一部を、外部組織に委託して行う経営の方法。
- オ 企業が既存の事業拠点から、他国の事業拠点に特定の事業を移転する方法。

問24 次の語句の正しい意味はどれか、ア～オの中から選んで答えなさい。

ディープラーニング

ア コンピュータが自動的に大量のデータから特徴を抽出する手法。

イ 人間の身体的特徴や行動的情報を使用して行う個人認証の技術。

ウ デジタル映像機器を用いて情報を発信するシステムの総称。

エ ITの進化を用いて働き方や社会のあり方を刷新するような施策。

オ ネット上の情報を収集して分類し、価値をもたせて配信するメディア。

問25 次の語句の対義語はどれか、ア～オの中から選んで答えなさい。

ポピュリズム

ア マツカーシズム

イ コミュニズム

ウ エリートイズム

エ リベラリズム

オ キュビズム

